

# 教育の基本方針

## 教育目的

感性豊かな人間性を育み、看護に必要な知識、技術、態度を修得し社会に貢献できる、自律した看護師を育成する。

## 教育目標

1. 健全な社会人としての教養を深め、良識ある行動がとれる態度を形成する。
2. 人間の尊重と多面的に人間関係を深める能力を養う。
3. 人々のあらゆる健康状態や生活の場、課題に対応した看護を科学的根拠に基づき実践ができる基礎的能力を養う。
4. 人間の多様な価値観を尊重し専門職業人として倫理に基づいた判断・行動ができるとともに最新の知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
5. 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、人々が社会的資源を活用できるよう調整するための基礎的能力を養う。
6. 国際化・情報化・環境への視野を持ち、社会の情勢に関心を寄せる姿勢を養う。
7. 自己研鑽を積み重ね、看護の専門性を追求していく態度を養う。

## 卒業時の到達目標

- 1 - ① 社会のルールに従い、規律・礼儀を考え行動できる。
  
- 2 - ① 生命の尊厳について理解できる。  
② 人間を尊重し、幅広くとらえることができる。  
③ 人間を身体的・精神的・社会的に統合して捉えることができ生活している人として考えられる。
  
- 3 - ① 対象を生活している人と捉え、健康段階に応じた看護の必要性がわかり、実践できる。  
② 安全を考慮した看護実践ができる。  
③ 論理的思考で問題解決できる。  
④ 看護師として科学的思考を持ち、人々の健康上の課題を把握し、看護を実践・評価することができる。
  
- 4 - ① 人間の多様な価値観や文化を尊重できる。  
② 倫理的感受性を養い、気づいた問題の理由を説明でき解決の方向性を明確にでき行動できる。  
③ 専門職業人としての自覚と責任が持てる。  
④ 自ら社会の変化に目を向けられ、常に進化する知識・技術を吸収できる。
  
- 5 - ① 保健・医療・福祉制度と多職種の役割が理解できる。  
② チーム医療の中での看護の役割を理解し、協働やコーディネーターの基礎能力を身につける。  
③ 人々の健康レベルに適し社会資源を活用することができる。
  
- 6 - ① 社会の動向や人々の暮らす環境に関心を持ち、国際的な視野にたって活躍できる基礎的能力を養う。
  
- 7 - ① 看護に対する自己の考えを持ち、主体的に看護を探究する姿勢を備えている。